

## お鍬山 植物たより (H25. 11. 17)



アベマキのドングリ



寒くなってきました。テレビや新聞では紅葉のたよりを報じています。紅葉といえばモミジ（イロハモミジ）です。お鍬山にも二本が中央広場に植栽されていますが、紅葉まじかといったところです。お鍬山での紅葉はやはりヤマハゼ、ヤマウルシです。触るとかぶれるので気をつけないといけません。各所に点在しており、散策途中の見せどころといえます。お鍬山では中央広場にはそのほかにも多くの樹木を植栽しています。展望台デッキ下に植栽のドウダンツツジも紅葉しています。シキサクラは開花し始めました。アキグミは赤い実をつけています。中国から来て間もないと

云う若い男女5人のグループ（留学生？）が展望台近くで楽しそうに雑談に興じていたので、昔はよく食べたものだといってアキグミをすすめたら、中国には無いし食べたこともないといって興味深く食べていましたがおいしくはなかったようです。ついでに、日本では桜は4月に咲くのが普通であるが、秋から冬に咲く桜もあるとあってシキサクラを紹介したら、こちらは気にいったのか写真を何枚も撮っていました。



アキグミの実

秋といえばドングリです。お鍬山では落葉のアベマキ・コナラ、常緑のアラカシ・シラカシから落下したドングリを遊歩道沿いに見ることができます。お鍬山の整備で常緑のアラカシ・シラカシの多くを伐採したので明るい林になりました。その明るい林の中、アベマキのドングリで遊歩道がじゅうたんのようになっている所もあります。ドングリを踏みながらの散歩も一興です。

赤い実をつけたソヨゴ・ウメモドキ・ヒヨドリジョウゴなどは散策中のアクセントです。もう少し経つとタカノツメの黄葉をみることができます。大きな木が多く、これからの散歩の楽しみの一つです。



ソヨゴの実



ウメモドキの実



ヒヨドリジョウゴの実